

第9回風力発電コンペ「WINCOM 2016」にて日本風力エネルギー学会賞を授与

2016年11月6日（日）、日本大学生産工学部（千葉県習志野市）で第9回風力発電コンペ「WINCOM 2016」が開催されました。当日は、高校生の部、オープン参加の部に、高校生17チーム、大学生・社会人9チームが参加、デザイン・アイデアに富んだ手作りの小型風車で、発電量や様々な利用形態のアイデアを競い合いました。

高校生の部では、先輩から引き継いだコンセプトを改良した作品、全く新しいコンセプトのもの有り、どれも工夫をこらした作品ばかりでした。一方、オープン参加の部では、発電性能のみならず製作方法、コスト等にも配慮した作品や、風車の回転エネルギーを蓄えて模型飛行機やボールの運動に変換するユニークな作品などが出展されました。

「WINCOM 2016」は若い方たちが物作りを経験し、その楽しさを味わうとともに、再生可能エネルギーへの理解を深める教育的な意義の高いイベントであることから、日本風力エネルギー学会からも審査員の一人として参加し、日本風力エネルギー学会賞を授与しました。

今回、学会賞を授与した山形県立山形工業高等学校の指導教員チーム（オープン参加の部）は、同校から参加した高校の部4チームを指導・引率されるかたわらで、発電量の部でも全体で第三位という好成績を収められたことが受賞の理由となりました。

当日の実施概要及びコンペの結果については、以下のサイトをご覧ください。

（実施概要） <http://www.cit.nihon-u.ac.jp/campus-life/event/wincom>

（コンペ結果） <http://www.cit.nihon-u.ac.jp/news/12552.html>